

## 第7章 計画の進行管理

### 評価結果を踏まえた計画の見直し（PDCAサイクル）

道南地域の地域公共交通を取り巻く環境変化に的確に対応できるよう、計画はPDCAサイクルのもと推進するが、そのサイクルの一環として、下記の実施体制・スケジュールに基づいて目標達成状況のモニタリングと評価を実施し、その結果を踏まえ、事業の見直しや目標の見直しを検討する。

#### 本計画の推進におけるPDCAサイクル



## 1 実施体制

目標達成状況のモニタリングと評価は、道南地域公共交通活性化協議会において実施する。

## 2 実施スケジュール

PDCA サイクルのもと、実効性の伴う事業を効率的に実施するため、毎年度、道南地域公共交通活性化協議会を開催し、目標達成状況のモニタリングと評価を実施する。

モニタリングと評価は、毎年6月頃に開催する協議会において実施する。

なお、急な環境変化等により、上記タイミング以外で対策の検討等が必要となった場合は、随時、協議会を開催してモニタリングと評価を実施し、必要な対策の検討を行う。

計画推進スケジュール

	令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	令和10 (2028)年度
計画 (Plan)	→				
実施 (Do)	R6 事業 →	R7 事業 →	R8 事業 →	R9 事業 →	R10 事業 →
協議会 開催 (Check) (Action)	状況に応じて 適宜開催 ● 第1回 (6月頃) R6 事業の協議	状況に応じて 適宜開催 ● 第1回 (6月頃) R6 事業の評価 R7 事業の協議	状況に応じて 適宜開催 ● 第1回 (6月頃) R7 事業の評価 R8 事業の協議	状況に応じて 適宜開催 ● 第1回 (6月頃) R8 事業の評価 R9 事業の協議	状況に応じて 適宜開催 ● 第1回 (6月頃)    第2回 (2月頃) R9 事業の評価 R10 事業の協議 次期計画の協議

### 3 実施方法

モニタリングは、下表の測定方法により測定した数値により行う。目標達成状況の評価は、目標値と測定値を比較し、目標が達成されたか否かや、目標値と測定値の乖離度合い等を考慮して実施する。PDCAサイクルのもと、評価結果を踏まえ、目標を達成するための事業の見直しや、目標そのものの見直しを検討する。

モニタリングを行う数値の測定方法

指標		目標値						測定方法
		現 状 R 3年度 (2021)	R 6年度 (2024)	R 7年度 (2025)	R 8年度 (2026)	R 9年度 (2027)	R 10年度 (2028)	
1	広域交通に係る路線バスの年間輸送人員	120 万人	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	バス事業者から提供される数値により測定
2	広域交通に係る路線バスの経常収支率	50.8%	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	
3	広域交通に係る路線バスへの補助（公的資金投入額）	313 百万円	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	
4	管内観光入込客数	7,739 千人	現状以上	現状以上	現状以上	現状以上	12,000 千人	振興局から提供される数値により測定